

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 677 2024年
1部60円 3月号
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

能登半島地震災害へ 救援募金活動と医療スタッフを派遣



毎週2回千駄ヶ谷駅で街頭募金活動を実施

2024年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とした地震およびその後の関連災害で被災された皆さまに改めて心よりお見舞い申し上げます。代々木病院では、能登半島地震災害に対する救援募金の取組み、また被災地への医療スタッフの派遣を行ってきました。取組みについてご紹介します。

今も現地への人的支援に制限がかかっている状況

能登半島地震から1ヶ月以上が経過しました。2月上旬現在、被災地の避難者は約1万4千人に上り、長期間の避難生活を送る中、被災地では4月以降になる見込みと公表されています。



募金を寄せる通行人

能登半島では、広範囲にわたる断水が続き、道の復旧時期について2月末から3月末、遅い地域では4月以降になる見込みと公表されています。

また道路も各所で寸断され交通事情が厳しいことや宿泊施設の確保もままならないことなどから現地への人的支援も制限がかかっています。

こうした状況の中で、被災地域の民医連職員のごころのケアの支援要請が全日本民医連からあり、代々木病院スタッフが2回(1/18、19、1/31、2/2)にわたり現地支援に送り出し、石川民医連の職員のごころのケアを支援する活動にあたってきました(支援者手記は後述)。

また、現地での支援活動の制限のある中で、代々木病院と代々木健康

輪島診療所前で陥没



被災された民医連職員へのごころのケアを実施して

公認心理師・臨床心理士 池田佳祐 木村佳



友の会では毎週2回千駄ヶ谷駅で街頭募金活動を行いました。街頭募金、病院

断され交通事情が厳しいことや宿泊施設の確保もままならないことなどから現地への人的支援も制限がかかっています。

断され交通事情が厳しいことや宿泊施設の確保もままならないことなどから現地への人的支援も制限がかかっています。

断され交通事情が厳しいことや宿泊施設の確保もままならないことなどから現地への人的支援も制限がかかっています。

断され交通事情が厳しいことや宿泊施設の確保もままならないことなどから現地への人的支援も制限がかかっています。

千駄の萱

能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げます。

に、被災された方々にお見舞い申し上げます。近年、仕事柄「しなげばならない」ことを言わざるを得ないことが多いが、言われる方も疲れると言う方だつて疲れる。仕事でも私生活でも「しなげばならない」「すべき」「したい」ことに折り合いをつけて日々を過ごすわけだが、「しなげばならない」だけでは、心が続かない。行きたい結論が美術館まわりである。そこには「しなげばならない」の塊、圧倒的な自己実現・自己表現のエネルギーにあふれている。何も考えずに、予備知識もいれずに、ただただ「しなげたい」を一身に浴びる。自分の「しなげたい」気持ちを思い出すのだ。